日工組通信

第72回

寄り添う パチンコ業界の社会貢献活動 あれこれ

今春、パチンコホールは新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により、およそ2カ月間、多くのパチンコ店が営業を自粛した。決して順風満帆とは言えない状況の中でも、多くのホール企業や組合等が、これまでと変わらずに、あるいはこれまで以上に、積極的に社会貢献活動を行っている。そんな活動の一部をFとKの両記者が紹介する。

K記者 50代の本紙記者。パチンコは学生時代によく打っていた。「日工組通信」をきっかけにパチンコ再デビュー。何事も探究心を持って取り組むことを心情としている。

F記者 入社3年目。パチンコは初心者も知識は豊富。好奇心が強く行動力は人一倍。最近の若者らしく、従来の縦社会にはなじまない。

F ちょっと気が早いけど今年のパチンコを振り返ってみると、やっぱり4～5月のホールの営業自粛が大きなニュースだったよね。

K 徹底したコロナ対策で営業を再開できたし、客足が少しずつ戻ってきたのは何よりだよ。もう一つ大きなニュースはハマリ救済機能ともいえる「遊タイム」が実現して、搭載機が続々と登場していることだよね。

F 2020年はコロナと遊タイムの年。遊技環境も機種も、今までとは変わった印象だよ。

K ところが、そんな中でも実は全く変わっていないものがある。それはホールによる社会貢献活動だよ。

F なかなか知る機会がないけど、パチンコ業界って実はいろいろなところで社会貢献してるんだよね。

災害支援 地元医療機関や福祉施設などにマスクの寄贈 災害避難対策に駐車場の開放

F 今年の春だと、やっぱりコロナに関連して、マスクの寄贈が多かったよね。

K 4月には全国各地の本当に多くのホール企業やホールの組合が、地元の自治体や医療機関、教育施設や福祉施設にマスクを贈ったんだ。

F 今でこそマスク騒動は収まったけど、春先は本当にマスクが入手困難だったり高価だったりしたから、助かった人・救われた人も多かっただろうね。

K しかもこの寄贈したまさにその時って、緊急事態宣言による営業自粛中で、いつ営業が再開できるのかわからないという状況だった。そんな中で世の中のために動くというのは、なかなかできることじゃないよ。

F 春から秋にかけてはホール企業が自治体と「災害時協定」を結ぶ動きが増えてきてるよね。

東京都福祉保健局にマスクを寄贈する安田屋の山下信浩社長

鹿児島県の「ユーコーラッキー鹿児島新屋敷店」の様子
（写真提供:アミューズメントプレスジャパン）

K 災害発生時に駐車場やトイレを開放したり、非常食を提供したりするものだね。

F 大雨とか台風での、川の氾濫とか道路や住宅の浸水も増えてる印象だから、安心だよね。

K 実際、今年9月に台風10号が九州に接近した時は、九州の多くのホールが駐車場を無料開放したんだ。あるグループでは13店舗の立体駐車場に3000台近くが避難した。飲食物や電源もあるし、「災害時はパチンコホールへ」という考えを持ってもいいかもしれない。

F 近くのホールが災害時に受け入れてくれるか、事前にチェックしておいてもいいかもね。

社会福祉 障がい者や子供のために地道に続けるさまざまな助成事業

毎週金曜日に開催している食堂には、多くの親子が訪れる

F 一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構っていう団体も活動してるよね。

K これは全国のパチンコホールの組合を中心とした業界の社会貢献基金や寄付金等を主な財源として、助成事業を行っているんだ。

F 2005年の設立から、いろいろな活動をしてるみたい。

K たとえば去年は北海道函館市で「にこにこ子ども食堂事業」を助成している。この子ども食堂は不定期開催だったが、助成を受けたことで毎週開催できるようになった。それによって、子どもや保護者が安心して過ごせる居場所ができたのはもちろん、ボランティアが増えたり、食材の寄付を検討している企業や団体からの問い合わせや見学が増えたりと、さまざまな相乗効果があったそうだ。

F 素敵なことだね！他にも障がい者やその家族が楽しめる演劇鑑賞会だったり、子供たちによる災害復興カルタ作成だったり……いろいろな助成事業を行っているんだよね。

「ホスピタルシアタープロジェクト2019～すべての子供たちと家族のための多感覚演劇」

K 助成だからなかなか表に出てこなくて、パチンコ業界による社会貢献だとは一般に伝わらない側面もあるが、世の中の役に立っていることは間違いない。

地域貢献 身近なところに……町の清掃など地域密着の活動

F ニュースにはならなくても、ホールやメーカーによる駅前の清掃や、お祭りへの参加なんかも立派な社会貢献活動だよね。

K たとえば、9月に全国1995カ所、7019人が参加して「全国クリーンデー　地域大清掃」っていう活動を行ったんだ。今年で3回目だそうだ。いろいろな社会貢献活動を見てきて思うのはどれも地域に密着しているっていうこと。でも考えてみるとそれも当然なんだよ。なぜならパチンコも社会貢献も、どちらも「その地域で暮らす人々に幸せな生活を送ってほしい」という思いが根底にあるはずだから。そのアプローチの方法や対象者が変わるだけでね。

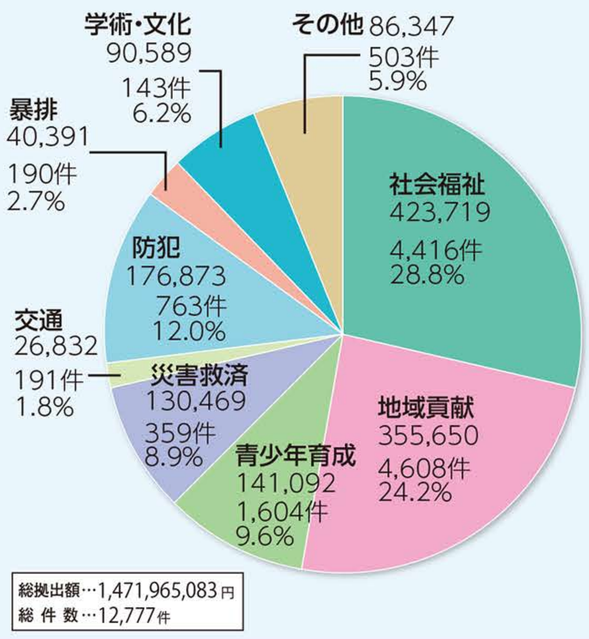
F 私たちも身近なエンタメとしてパチンコを楽しみながら、巡り巡って地域社会に貢献できているんだね！

全国クリーンデーの様子

パチンコ業界 2019年 社会貢献・社会還元の実施状況

■2019年分野別 拠出額と割合

（単位：千円）



社会福祉、地域貢献…さまざまな取り組みを

拠出金の総額は14億7197万円

パチンコ・パチスロ社会貢献機構の調査結果によると、2019年の社会貢献・社会還元の実施状況の内訳はグラフのとおりで、拠出金の総額は14億7197万円だった。拠出別元の金額は、都府県方面組合が約4億1779万円、支部組合が約1億1907万円、組合員ホールが約8億820万円となっている。各組合を構成するのはホールであるため、実質的には全額がホールからの拠出金となる。

拠出内容別の構成比を見ると「その他」を除くと多い順に社会福祉関連、地域貢献関連、防犯関連、青少年育成関連、災害救済関連、学術・文化関連、暴排関連、交通安全関連となっている。

また、ボランティア活動等の社会貢献活動として、各都府県方面組合から過去最多となる3589件の具体的事例（清掃活動、献血活動、パトロール活動、災害ボランティア活動等）が報告されている。

次回掲載は11月27日です　過去の掲載はこちらで読めます　http://www.nikkoso.jp